

## 1. 平成25年度 事業報告書

### 事業の状況

#### § 事業をおこなうための演奏団体の指名について

- ・ 指名の基準は、振興会の創立準備期に策定された次の4項目を満たすことが条件となっており、今年度もこれを踏襲した。
  - (イ) 職業専門家で編成される混声合唱団であること。
  - (ロ) 定期演奏会を年間5回以上実施することが可能なこと。
  - (ハ) 演奏の水準が常に高いこと。
  - (ニ) 合唱団員の契約関係が整っていること。
- ・ 東京混声合唱団は創立以来満58年の歴史を持ち、定期公演は年間5回を数え、演奏姿勢に一貫性があり、安定度も高く評価も定まったものとなっている。また契約の諸条件も整備されている。
- ・ 4項目を満たす演奏団体のリスト・アップについては公平原則の視点から常時取材を行い、指名についてのフリー・ハンドを保有するものであるが、現況では適格団体は東京混声合唱団ただ一つにとどまっている。
- ・ これにより指名は東京混声合唱団に決着を見ている。

## § 事業の概要

### I) 合唱音楽の演奏会の開催

(1) 定期演奏会 4回、 特別定期演奏会 1回、 計5回

★定期演奏会は第231回から第233回および特別演奏会（八月のまつり）。地方（大阪）での定期演奏会（1回）をあわせて5回

#### ★内容

●平成25年8月9日（金）東混 八月のまつり No. 34

恒例の「東混八月のまつり」は34回目。トリトン・アーツ・ネットワーク並びに第一生命ホールとの共催公演。「林光・東混八月のまつり」のその殆どを一緒した寺嶋陸也さんの指揮とピアノにより「原爆小景」完結版、寺嶋さんの作品より「ふるさとの風」完結版、「歌の小箱」と題して林さんと寺嶋さんによる小品集。照明は古賀満平さんの遺志を受け継ぐ立川直也さん。「寺嶋の指揮はあるときは厳しく、あるときは美しくこの多様式の作品を演じた。（佐野光司・音楽の友）」

●平成25年8月30日（金）（大阪）いずみホール定期演奏会 No. 18

指揮はいずみホール定期初登場の松井慶太さん。2012年、エリザベート王妃国際音楽コンクールグランプリの酒井健治さんへ委嘱初演が実現し「私は他人である II」が世界初演。師弟関係にある小出稚子さんの「入れ子」と池辺晋一郎さんの「窓の声、光の声」最新委嘱作品の大阪初演。ピアニストに作曲家の若林千春さんをお迎えし、NEW東京混声合唱団愛唱曲集「ローレライ」の楽譜・CD出版記念演奏。

●平成25年10月25日（金） 第231回定期演奏会

正指揮者の称号を贈られた松原千振さんと定期演奏会初登場の陣内直さんによるW指揮。松原さんは二人のナレーター（岡伸子さん、岡部申之さん）が付くエストニアのトルミスによる大作「イスホリア人の史話」。ハンガリーで合唱を学んだ陣内さんはそのハンガリーの合唱曲と福島雄次郎さんの女声合唱曲「南島歌遊び」そして石黒晶さんへの委嘱が実現し「愛のうた 恋のうた」が世界初演された。

●平成25年12月13日（金） 第232回定期演奏会

コンダクター・イン・レジデンスの松井慶太さんの指揮。生誕80年が追悼となってしまう三善晃さんの「子どもの季節」、酒井健治さんへの委嘱新作「私は他人である II」の東京初演、湯浅譲二さんと谷川俊太郎さんとの合唱連作シリー

ズより最新作の「雲」と瀧口修造さんのテキストによる女声合唱曲「カヒガラ」、そして没後15年に当たるロシアのシュニトケによる40分に及ぶ無伴奏大作「合唱協奏曲」に挑んだ。NHK-FM「現代の音楽」にて放送。「難曲ではシュニトケ作品もそう。コンチェルトグロッソの形をとった40分に及ぶ大作だが、静と動が4楽章で絶妙にコントラストし、ロシア語詞章も、旋律、和声と共に調和し空間に翔いた。(小山晃・音楽の友)」

●平成26年3月19日(水) 第233回定期演奏会

音楽監督の田中信昭さんの指揮。半世紀の合唱の流れと題し、1948年作曲の柴田南雄さんによる「水上」「早春」「風」、68年作曲の三善晃さんによる「五つの童画」(三善さんへの追悼)、2006年作曲の佐藤聡明さんの「海」(改訂版初演)そして2013年の西村朗さんによる「邪宗門秘曲」。ピアノは中嶋香さん。NHK-FM「現代の音楽」にて放送。「プログラミングの対比と流れも見事だが、演奏の充実も素晴らしい。中でも三善晃の美しさは、田中と三善の深い深い関わりを背景とし余人をもって代え難い至高の世界が現出した。至福の時間であった。(国土潤一・音楽の友)」

★曲目紹介

[東混特別演奏会 東混 八月のまつり 34]

2013年8月9日(金) 第一生命ホール

指揮・ピアノ 寺嶋陸也 照明 立川直也

●林光作曲・原民喜詩 原爆小景(1958/71年委嘱作品)

●寺嶋陸也作曲・竹内浩三詩 ふるさとの風に(2005/2010)

●歌の小箱

もう直き春になるだろう(城左門詩・山田夏精曲・林光編曲)

春よ来い(相馬御風詩・弘田龍太郎曲・寺嶋陸也編曲)

挿し木をする、水辺を去る(中野重治詩・林光曲・寺嶋陸也編曲)

カワセミ、これから百年(鈴木敏史詩・寺嶋陸也曲)

会津磐梯山(福島民謡・寺嶋陸也編曲)

音の虹(林光詩・曲)

[いづみホール定期演奏会 No.18] -

2013年8月30日(金) いづみホール

指揮 松井慶太 ピアノ 若林千春

●小出稚子作曲 入れ子(2011年委嘱作品)

- 池辺晋一郎作曲 小池昌代詩 窓の声、光の声（2012年委嘱作品）
- 酒井健治作曲・アルチュール・ランボー詩  
Je est un autre II 私は他人である II（2013年委嘱作品）－初演－
- 若林千春編曲 NEW 東京混声合唱団愛唱曲集「ローレライ」

〔第231回定期演奏会〕－合唱音楽に賭ける輝く2人の指揮者－

2013年10月25日（金） 第一生命ホール

指揮 松原千振、陣内 直

語り 岡部申之 岡伸子

- リゲティ作曲・ハンガリー民謡 カッローの対舞（1952）
- ファルカシュ作曲・ヴェレシュ・シャーンドル詩 薔薇のマドリガル（1947）
- コダーイ作曲・ヴェレシュ・シャーンドル詩 ノルウェーの娘たち（1940）
- コダーイ作曲・新約聖書より イエスと商人（1934）
- コダーイ作曲・ハンガリー民謡 タベのうた（1938）
- 福島雄次郎作曲 南島歌遊び その2 「伝説」（1982－83）
- 石黒晶作曲 愛のうた 恋のうた（2013年委嘱作品）－初演－
- トルミス作曲 イスホリア人の史話（1975）

〔第232回定期演奏会〕

2013年12月13日（金） 東京文化会館小ホール

指揮 松井慶太

- 三善晃作曲－追悼－ 子どもの季節（1965）
- 酒井健治作曲・アルチュール・ランボー詩  
Je est un autre II 私は他人である II（2013年委嘱作品）
- 湯浅譲二作曲  
女声合唱曲 カヒガラ（瀧口修造詩）（2011）  
混声合唱曲 雲（谷川俊太郎詩）（2012）
- シュニトケ作曲－没後15年－ グレゴリー・ナレカツィ詩  
合唱協奏曲（1984－85）

〔第233回定期演奏会〕－半世紀の合唱の流れ－

2014年3月19日（火） 東京文化会館小ホール

指揮 田中信昭 ピアノ 中嶋 香

- 柴田南雄作曲・北原白秋詩 三つの無伴奏混声合唱曲（1948）
- 三善晃作曲－追悼－・高田敏子詩 五つの童画（1968）

- 佐藤聰明作曲 海（２００６）－改訂版初演－
- 西村朗作曲・北原白秋詩 邪宗門秘曲（２０１３）

## Ⅱ）合唱作品の委嘱

今年度は次の２人の作曲家への委嘱作が誕生した。

- ・酒井健治作曲・アルチュール・ランボー詩

Je est un autre II 私は他人である II

（いずみホール定期 ２０１３．８．３０）

「私は他人である II」は、二楽章よりなり、第一楽章はゆるやかにハーモニーが変化するテクスチャーの上に様々な特殊唱法がちりばめられ、第二楽章はそれぞれのパート（ソプラノ、アルト、テノール、バス）のソリスト達が合唱団から前面に現れ、テュッティとソリスト群が頻りに交代しつつ、合唱により相応しいテクスチャーを持つ第一楽章よりも、テキストを話す等の行為により、テキストに直接的に焦点を当てられた音楽となっています。（酒井健治）」

「ランボー詩に付曲した酒井作品は、声を揃えて唱い声のマスを楽しむというような、一般的に歌われる合唱曲とはまるで異なった曲である。詩も音楽も断片的に綴られ、だが混声が綾織となってアコースティックな魅力と効果をあげた。（小山晃・音楽の友）」

- ・石黒晶作曲 愛のうた 恋のうた－混声合唱のための－
- ＜まやしえこ（波照間島の伝承詩）＞
- ＜あのひとが来て（谷川俊太郎詩）＞
- ＜みだれ髪（与謝野晶子詩）＞
- ＜おれは六十で君は十六（金子光晴詩）（原題：愛情 2）＞

（第２３１回定期 ２０１３．１０．２５）

「本作はタイトルが示すとおり「愛」と「恋」を歌った四つの合唱曲からなる組曲です。テキストは、明治・昭和・平成それぞれの時代に生まれた愛と恋の詩歌、そして沖縄に伝わる恋の小譚詩を選びました。その言葉は八重山方言・現代日本語・古語…と多彩です。音楽もオーソドックスな合唱書法によりながら、多声的・ロマンティック・オールディーズ風…と曲毎に少し変化します。また短いソロや朗読等の“小技”も忍ばせています。言うまでもなくそれは、東京混声合唱団の豊潤なハーモニーと卓越したアンサンブルを想定できたから可能なことでした。（石黒晶）」

Ⅲ) アマチュア合唱団への指導者派遣

大谷研二を東工大コールクライネス、学習院女子大合唱団などの育成指揮、ほかに全日本合唱連盟各支部の合唱講座の講師・地区大会・全国審査などに派遣した。

Ⅳ) 合唱音楽に関する調査研究

諸外国に於ける混声合唱団のレパトリー調査を引き続き実施した。

Ⅴ) 合唱歌手の育成

検討中

Ⅵ) 音楽に関する出版物の刊行

「合唱音楽」第33号 B5版 52ページ 3月31日発行 1,500部

Ⅶ) 文化庁主催「次代を担う子どもの文化芸術体験事業」

小中学校等において、一流の文化芸術団体による舞台芸術公演を行い、次代の担い手となる子どもたちの発想力やコミュニケーション能力の育成を図り、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的とする。公演団体を東京混声合唱団とし、九州地方各地（福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県）にて、本公演を18公演、追加公演を3公演行った。

Ⅷ) 東京混声合唱団作曲委嘱活動賛助・支持会制度